

OKI KISEN

For generations, we have sailed alongside island life, connecting people across the sea since the early Meiji era. With a new ship on the horizon, we're setting a fresh course-and we need young minds with bold ideas and the drive to act. Join us in supporting every voyage, creating safer, smoother journeys for residents and visitors alike. We look forward to welcoming you aboard.

BE THE OKI CREW



夢に乗り込め。

●● 隠岐汽船

〒685-0013 島根県隠岐郡隠岐の島町中町 TEL:08512-2-1122

OKIKISEN

RECRUITMENT GUIDEBOOK

**SAFELY
CONNECTING
PEOPLE AND
PLACES**



OKKISEN DESCRIPTION

経営理念

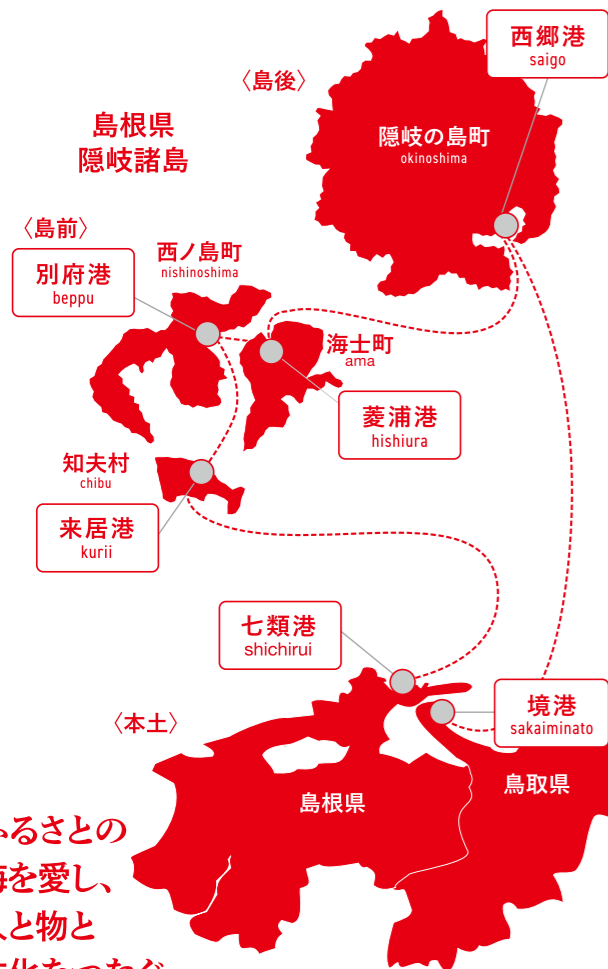
安全運航を第一に
人流・物流の安定輸送に努め
島の経済と産業・文化の
振興に寄与する



詳しくは
WEBサイトへ

隠岐汽船は、
今日も
隠岐諸島と
本土を
結んでいます。

高速船で約1時間、フェリーで
約2時間半の海の旅。隠岐汽船は
隠岐諸島と本土を結ぶ重要な渡船として、
人と人、人と場所を結ぶフェリーを
運航しています。



ふるさとの
海を愛し、
人と物と
文化をつなぐ

私たち、隠岐汽船は、明治中期から島の人々の暮らしと共に歩んできました。令和7年に130周年という節目を迎えるにあたり未来に向けて舵を切るため、また新造船の計画もあり、益々若い方の発想と行動力が必要です。より良い船旅と一緒に支える人をお待ちしております。

募集要項

会社名	隠岐汽船株式会社
完全子会社	隠岐汽船テクノ株式会社
関連会社	隠岐汽船商事株式会社
勤務地	〒685-0013 島根県隠岐郡隠岐の島町中町目貫の四10番地内2.11番地内2
船種	旅客船兼自動車渡船
勤務時間	1日8時間、残業1ヶ月平均10時間
休日	10日/月、有給休暇・20日/年
賞与	年2回(R6年実績2.8ヵ月)
昇給	年1回
待遇・福利厚生	加入保険(厚生年金保険、労働災害保険、雇用保険、船員保険)年金(厚生年金、企業年金)子育て支援(育児休暇あり)資格支援(救命艇手取得支援ほか)
選考方法	筆記(作文)及び面接

運航船舶数 4隻	創業年 1895年	従業員数 船員 85名 陸上 70名	有給取得率 89.09% <small>※令和6年度参照</small>	平均年齢 船員 42.5歳 陸上 43.6歳	平均勤続年数 船員 19.7歳 陸上 11.7歳
--------------------	---------------------	--	---	--	--



「プロの仕事」なので
船の仕事は

**YAMANE
TOMONORI**

甲板部

山根 智徳

甲板部の主な仕事は、船が港に入る際のロープ作業や、船橋での操船、車両甲板でのトラックの固定など、船を安全に動かすための現場作業全般です。この仕事で一番やりがいを感じるのは、入港時に舵を操作して、目標とする位置に船を「ヒタ止め」できた瞬間です。巨大な船を自分の手でミリ単位でコントロールし、理想のラインに乗せられた瞬間は、やっぱり嬉しいものです。こうした細かい技術を毎日コツコツと磨き続けたいです。

技術を磨き続けたい。



「無事に着く」という信頼を、130年

隠岐汽船は令和7年に創業130周年を迎えました。昔から島の人たちの暮らしを支えてきた歴史があるからこそ、「無事に着く」という当たり前の信頼を何より大切にしています。時化（しけ）の日など海の状態は毎日違いますが、どんな時でも安全なルートを判断し、事故なく運航を終えることが私たちの使命です。この積み重ねが、島の日常を守ることに繋がっていると感じています。

褒められて伸びるタイプ

実は私、「褒められて伸びるタイプ」です。以前、時化（しけ）の中でうまく波を避けて操船できた際、上司から「上手だな」と言ってもらえたことは大きな自信に繋がりました。ロープ投げ一つとっても奥が深い世界ですが、技術を見てくれる先輩や仲間、後輩がいるからこそ、もっと磨こうと思えます。また、職場の雰囲気も良好で、趣味の話で盛り上がりたりすることもある温かい職場だからこそ、日々頑張ろうという気持ちになれます。

隠岐での暮らし

島内には美味しいお店がたくさんあって、「菜館」や「キッチンはな」、「ユラユラ」などによく行きます。古着屋の「エルブス」やスコーン屋「カムパネルナ」にふらっと立ち寄るのも楽しみの一つですね。一度島を出て戻ってきた時に、やっぱり島の雰囲気が一番落ち着くなど改めて実感します。休日はキャンプや釣り、バイクに乗って過ごすことが多いです。仕事でも毎日海を見ているのですが、プライベートで自然の中に身を置く時間はまた格別ですね。自分で新しい道具を揃えたり、ツーリングに出かけたりすることが、仕事に向けて良いリフレッシュになっています。隠岐の自然は、陸からも海からも楽しめます。

VOICE 新卒の方へメッセージ



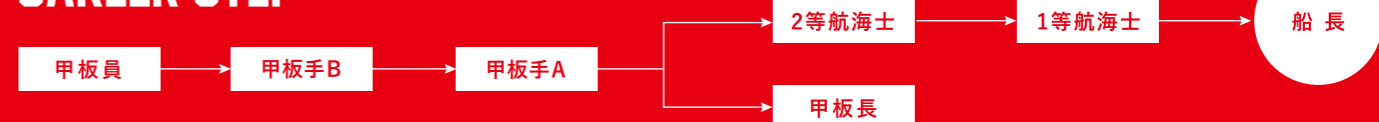
船の仕事は大きな責任が伴う仕事なので、最初は覚えることが多く大変かもしれませんが、少しずつ身につけていけば大丈夫です。海の仕事に興味がある方や、地元が好きな方と一緒に働けるのを楽しみにしています。隠岐汽船の就職をきっかけに県外から隠岐に住む方が増えると嬉しいです。

【甲板部】1日のスケジュール

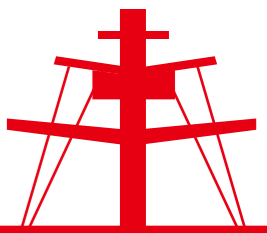
08:00	出社
08:30	ミーティング後、船内に車両積み込み作業
09:30	当直業務や船体整備 ※休憩は交代で取る
17:35	終着港に入港後、船体固定の後に各機器停止
18:00	業務終了 ※船によって若干違いあり



CAREER STEP キャリアステップ



地元が大好きなので。



船が無事に動く、
その当たり前前を支える

地元・隠岐で、船を動かす仕事

この仕事のやりがいは、船が無事に動いていることを実感できることだと思っています。主機や発電機の操作、見回りや定期作業は、どれも目立つ仕事ではありませんが、船を動かすためには欠かせないものです。特に、何事もなく一日の運航を終えられたときは、「今日も問題なく終わったな」と感じますね。トラブルが起きないこと自体が、この仕事の成果だと思っています。船が当たり前前に動いて、人や物が当たり前前に島と本土を行き来できる。その裏側に関わっているという実感が、仕事を続けていく中で支えになっています。

入社のカッカケ

隠岐汽船に入社したのは、前職を退職したあと、地元に戻ってきたことがきっかけでした。仕事を探している中で、隠岐汽船の募集の張り紙を見て、「受けてみようかな」と思い、応募しました。前職では、タグボートの船員として働いていました。大型客船を岸壁に寄せたり、出港の際に補助をしたりする仕事です。海の仕事にはもともと関わっていたので、その経験も今の仕事に活かしていると思います。転職を考えた理由としては、やっぱり地元が好きという気持ちが一番大きかったですね。地元で働きたいという思いに加えて、働く環境や条件面も含めて、隠岐汽船で働くことを選びました。

隠岐での暮らし

隠岐で好きな飲食店は、隠岐の島町の中華料理店「龍鳳」です。ラーメンが美味しく、特にやしラーメンが気に入っています。子どもの頃から通うお店で、今も変わらず行っています。休日は愛犬のモカと散歩をしたり、趣味でガンブラ(最推しは「ドム」です)をよく作っています。地元で働き地元で暮らす。特別なことではないかもしれませんが、自分にとっては自然な選択だったと思います。

VOICE 新卒の方へメッセージ



隠岐汽船の仕事は、すごく派手なものではないかもしれませんが、島の暮らしや人の移動を支える大切な仕事です。実際に働いてみて、責任はありますが、その分やりがいも大きいと感じています。最初は不安に思うこともあるかもしれませんが、少しずつ覚えていけば大丈夫です。地元が好きな方や、海の仕事に興味がある方には、向いている職場だと思います。ぜひ一緒に働きましょう。

【機関部】1日のスケジュール

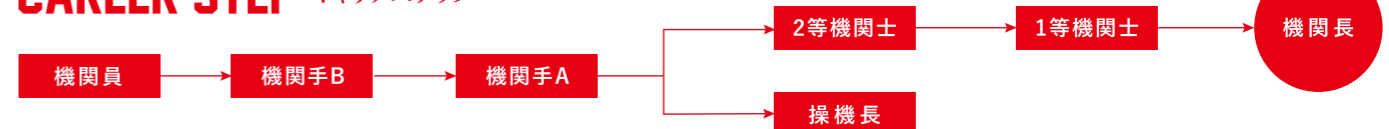
08:00	出社
08:25	発電機始動・エンジン始動準備・始動
09:30	フェリー出航後は機器の見回り
11:00	当直業務や機器の整備 ※休憩は交代で取る
17:35	終着港に入港後、エンジンを停止する
18:00	業務終了 ※船によって若干違いあり

**UENO
IBUKI**
上野 武暉 **機関部**

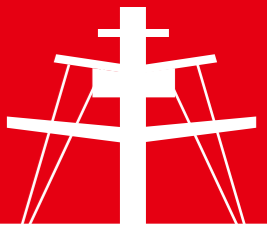
現在、隠岐汽船で機関部として働いています。主な仕事は、主機や発電機の始動、機関室内の見回りや定期作業などです。機関室でレバーを操作して機械を動かしたり、設備に異常がないか確認したりしながら、船の運航を支えています。ひとつひとつは地道な作業ですが、船を安全に動かすためには欠かせない仕事です。目立つ仕事ではありませんが、船が無事に動いていると、やっぱりやりがいを感じますね。



CAREER STEP キャリアステップ



旅の入り口を支えています。



人と向き合う
仕事は、
島の航路を
支えています

接客も観光案内も、まかないも。

事務部の仕事は非常に幅広いです。普段の業務は、カウンターでの接客と観光案内です。本土から隠岐へ行かれる方に対して、「このあとどう動けばいいか」「どんなルートがあるか」といった案内をしています。その逆も然りですね。地元の方もいれば、県外から来られた観光客の方もいて、毎日本当にいろんな方とお話をします。それに加えて、船員のまかないを作ることも業務に入っています。調理師免許は持っていないのですが、免許を持っている料理長の補助として、乗り組み員の食事を提供する仕事です。「今日のまかない番」という形でシフトが組まれていて、特別な仕事というより、事務部の業務の一つとしてとても楽しく作らせてもらっています。

「ありがとう」の一言が、やりがいになります。

この仕事のやりがいは、やっぱり人と関わるところですね。地元の方や、県外から来られた方とお話するのは楽しいです。特に印象に残っているのは、足の悪いお年寄りの方に付き添ったときのことです。案内が終わったあとに「ありがとう」と言ってもらえると、やっぱり嬉しいですし、この仕事をやってよかったなと思います。人と直接向き合えるところが、事務部の魅力だと思っています。

隠岐での暮らし

島内で好きなお店は、お寿司屋さんの「八百杉(やおすぎ)」です。本当に特別なときに、テイクアウトで利用することが多いです。単品で頼むことが多くて、中でもカキの握りが美味しいです。離島ということもあって、休日は家で家族みんなと一緒にご飯を作ることも多いです。普段から料理をするので、その経験が仕事でのまかないづくりにも活かされているかなと思います。

VOICE 新卒の方へメッセージ



これから就職を考えている学生さんには、「ぜひ一緒に働きましょう」と伝えたいですね。最近流行りのワークライフバランスも大事だと思いますが、「長く続ける」という選択肢も一つの道だと思っています。続けていく中で、自分の道が自然と見えてくる。隠岐汽船は、長い目で見て働きやすい会社だと感じています。毎年昇給もありますし、生活のことを考えると、そういう部分も大事ですね。

【事務部】1日のスケジュール

08:00	出社
09:00	お客様乗船開始 切符の改札、お客様を客席にご案内
09:30	各港への入出港準備、お客様乗船開始 切符の改札、お客様を客席にご案内 ※休憩は交代で取る
17:35	終着港に入港して お客様下船後に船内清掃
18:00	業務終了 ※船によって若干違いあり

**FUJINO
YUMA**
藤野 裕磨

事務部

私は、隠岐汽船の事務部で働いています。事務部と聞くと、デスクワークを想像されるかもしれませんが、実際は人と関わる仕事を中心です。窓口は、お客様が最初に私たちと出会う場所でもあるので、安心してもらえる対応を意識することが大切だと日々感じます。接客や観光案内などの人と向き合う仕事を通して、島を訪れる方、島から本土へ向かう方の“旅の入口”を支えています。

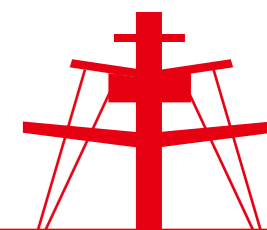


CAREER STEP キャリアステップ



毎日違うお客様と向き合う仕事

「真心しかない」ですね。



自然に出てくるプラスアルファ

切符の対応だけでなく、ご高齢の方の荷物を率先して持ったり、ちょっとした雑談をしたりすることもあります。決められた業務というわけではありませんが、無意識にやっていますね。人と関わるのが好きですし、職場の雰囲気が良く、楽しく仕事ができているからこそ、自然にそういう行動ができているんだと思います。お客様への接し方を一言で表すなら、やっぱり「真心しかない」ですね。ちょっと照れますけど、正直な気持ちです。

これからの目標

私の仕事は一見同じことの繰り返しに見えるかもしれませんが、お金を扱う仕事なので、細かいところまで気をつけています。今はまだ、みなさんに助けてもらう場面の方が多いですが、将来的には、誰かが入ってきたときに「なんでも答えられる先輩」になれたらいいな、と思っています。自分が心強いと感じていた存在に、今度は自分がなれたらいいですね。

隠岐での暮らし

隠岐の好きなところは、人の距離が近いところです。仕事でも普段の生活でも、自然と会話が生まれるのがいいなと思っています。お気に入りのお店は焼肉屋の「味富」ですが、やっぱり一番好きなのは実家のご飯ですね。一度よそに出て帰ってくると、「実家のご飯が一番だな」と改めて感じます。休日は、釣りに行くことが多いですね。最近はイカ釣りにハマっていて、父や友達と行ったり、一人でのんびり行くこともあります。海を見ながら過ごす時間は、いい気分転換になっています。楽器を触るのも好きで、ピアノやサクソフを中心、いろいろな楽器に触れてきました。仕事を始めてから、自分で楽器を買ったり、釣り道具をそろえたりするのも、ちょっとした楽しみですね。

VOICE 新卒の方へメッセージ



隠岐汽船の仕事は、一日にたくさんのお客様と接する仕事です。忙しい日もありますが、その分、人との関わりが多くて、やりがいを感じられる場面も本当に多いですね。接客が好きな人や、人と話すことが苦じゃない人には、すごく合っている仕事だと思います。嫌なことがあっても、お客様からの「ありがとう」で気持ちが切り替えられる。そんな瞬間があるので、前向きに頑張れる職場だと思っています。是非みなさんが入社してくださることを心待ちにしています。

【陸上部】1日のスケジュール

07:20	出社
07:30	切符の販売、電話対応、予約管理など
11:00	休憩
12:00	切符の販売、電話対応、予約管理など
15:10	最終便が出航
16:20	業務終了 ※シフトによって変更あり

FUJITA HINA
藤田 ひな

陸上部

私の仕事は、切符売り場での窓口対応や電話対応、予約管理などです。毎日来られるお客様が違うので、同じ仕事の繰り返しでも、実は毎日違います。割引の対応や、手帳の種類や条件によって内容が変わることがあって、「この場合はどうなんだろう?」と迷う場面もあります。その時は、先輩に相談したり、本社や船と連携しながら対応しています。一人で抱え込まない環境があるのは、本当に心強いですね。



CAREER STEP キャリアステップ





BETHE OKI CREW

IT'S YOUR TURN TO BOARD THIS SHIP NEXT>>>